

お元気ですか

【特集】富士市社協の障害者支援事業所をご紹介します！



【鷹身工芸社】利用者のみなさん

社協は、みなさんと一緒に地域を支える民間の団体です

発行

社会福祉法人 富士市社会福祉協議会
〒416-8558 富士市本市場 432-1
TEL 0545-64-6600
FAX 0545-64-6567

富士市社会福祉協議会
ホームページ



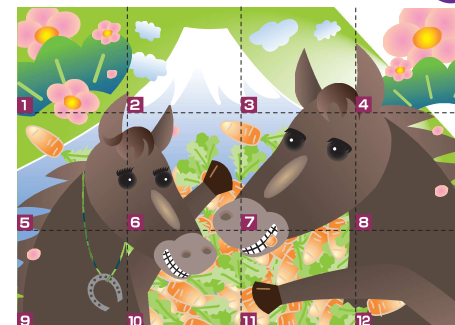
お年玉企画

あれっ？

どこかが違うぞ!?

図書カード
プレゼント
20名様

① AとBを見比べて、違っているところを5ヶ所探してハガキに答えを番号で書いて下さい。



● 締め切り日 令和8年2月20日(金)

● 応募は、下記事項をご記入いただき、ハガキまたはウェブにてお申込みください。

①解答 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥富士市社協が障害者支援事業所を運営していることを知っていましたか？

A:知っている B:聞いたことはある C:知らなかった

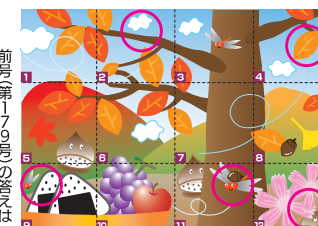
〒416-8558 富士市本市場432-1 富士市社会福祉協議会

- 正解者の中から抽選で20名様に図書カード(1,000円分)を差し上げます。
- 当選者の発表は3月13日までに発送をもって代えさせていただきます。
- 応募いただいた際の個人情報は、懸賞目的及び社協事業の情報提供以外での使用はいたしません。

ウェブ申込み
はこちら



前号(第180号)の答えは
②④⑥⑩⑫でした



応募総数
545通

たくさんの方に応募、
ご意見に感謝
ありがとうございました。

たくさんの善意をありがとうございました！

令和7年8月1日～令和7年10月31日(敬称略)

1. 立光寺 2回
 2. 株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博 3回
 3. ADEKA労働組合
 4. 株式会社アトマックス
 5. 林製紙株式会社
 6. 富士吉原ライオンズクラブ
 7. 富士川文化協会
 8. 静岡県東部イベント商業協同組合
 9. 一般社団法人福祉イベント会
 10. 森島アクティブ
 11. KIDSチャレンジフェス実行委員会
 12. 富士山吉原ロータリークラブ
 13. 富士ロータリークラブ
 14. 新富士ロータリークラブ
 15. フォークダンスおのわ・レクダンスMt富士
 16. 吉原地区民生委員児童委員協議会
- 匿名 5件
- ＜交通遺児援護事業指定寄付＞ 匿名 1件

富士市社会福祉協議会のラジオ番組！

Radio 84.4fm

富士市社会福祉協議会
はあとふるトーク

毎月最終水曜日 15:10 放送！

「手話」覚えてみよう！話してみよう！

87



両手を斜めに
指先をつけ、
胸の前で構え
る。[家]

両手の2指をつ
まんだ形にして
下に向けた状態
で前後に置き、
右手と左手を近
づける。[近い]



リニューアルした
たかしんこうげいしや
鷹身工芸社へ
行ってみました!



鷹身工芸社は、一人ひとりのペースを大切に、「できた!」の笑顔あふれるあたたかな場所です!



開所式の様子

新しい鷹身工芸社が完成!

令和7年6月、富士市社会福祉協議会が運営する鷹身工芸社が新しく生まれ変わりました。

「誰もが地域の中で幸せを感じられる場所」という想いを込めて建てられた新しい施設は、白を基調とした明るい室内、南側に設置された数多くの窓で、明るく開放感のあるつくりになっています。

屋外の作業スペースも広くなり、電動で開閉するひさしを設置するなど快適に作業できる環境が整っています。



明るく開放的な作業スペース

鷹身工芸社は、昭和58年の開所以来、地域の皆さまと一緒に活動を続けてきました。現在は20名の利用者が、車の部品の組み立てや木製バズルの削り作業、花笛作り、レザー製品作りなどに取り組んでいます。

利用者の皆さんは作業だけでなく、休憩時間には楽しくおしゃべりをしたり、ダンスをしたりと、楽しそうに過ごしていました。

「新しい施設でこれからもっと楽しく頑張っていきたい」と話す利用者の皆さんの笑顔がとても印象的でした。

富士市社協の 障害者支援事業所

富士市社協の障害サービス室では、障害のある方へ向けた日中の活動の場として**就労継続支援B型事業所(9ヶ所)**、**生活介護事業所(1ヶ所)**を運営しています。障害のある人それぞれが、その人らしい暮らしができるよう各事業所では、パンやクッキー等の食品、キャンドルや石けん等の雑貨作りのほか、仲間とダンスや歌を楽しむ等、

それぞれのプログラムに沿った活動をしています。私たちの想いは、「仕事や生活のための場」を提供するだけでなく、「生きがいの場」をつくること。一人ひとりに寄り添い、可能性に目を向けることで、障害の有無に関わらず皆で笑いあえる明るい事業所づくりを実現しています。

事業所のご紹介

オリーブの丘 (生活介護事業所)



「ゆったり」「楽しく」「自分らしく」をモットーに、日々作業や様々な活動を行っています。

〒富士市伝法120-1
☎ 0545-30-6321
★ 自主製品(製造・販売)
紙漉き製品

まつぼっくり (就労継続支援B型事業所)



下請作業と菓子製造販売を行っています。利用者さんが心を込めて丁寧に作ったお菓子は大変美味しいと評判です。

〒富士市大野新田744-25
☎ 0545-32-0380
★ 自主製品(製造・販売)
洋菓子(クッキー・焼き菓子)

市民ふれあいバンク (就労継続支援B型事業所)



皆様からご寄付いただいた衣類や雑貨などを、明るく元気な利用者さんが心を込めて手入れし、販売しているリサイクルショップです。ご家庭に眠っているもののご寄付もお願いします。

〒富士市宇東川西町8-39
☎ 0545-51-3080
★ 自主製品(製造・販売) リサイクルショップ、リサイクル品回収、オレンジパワー石けん

吉原つくし (就労継続支援B型事業所)

〒富士市中央町1-10-35 ☎ 0545-53-0857
★ 手染製品

鷹身工芸社 (就労継続支援B型事業所)

〒富士市久沢1028-1 ☎ 0545-71-0105
★ 花の苗作り、トールペイント、雑貨

竹の子 (就労継続支援B型事業所)

〒富士市横割1-20-13 ☎ 0545-64-0881
★ 手作り石けん、ビーズ製品(各種アクセサリ)

ふじひろみ (就労継続支援B型事業所)

〒富士市大淵3022 ☎ 0545-30-6665
★ EMIほかし、卒業(園)式用コサージュ、雑貨等

今回ご紹介
します!

ふれあいショップあゆみ (就労継続支援B型事業所)

〒富士市松岡566-4 ☎ 0545-64-0694
★ パン、ラスク

ひめな (就労継続支援B型事業所)

〒富士市比奈1376-1 ☎ 0545-34-7100
★ 各種縫製品

ふじばら作業所 (就労継続支援B型事業所)

〒富士市中之郷4100-1 富士川地域福祉センター2F ☎ 0545-81-1144 ★ キャンドル、EMIほかし



わたしたちがデザインしました!!

絵を描くことが
楽しくて大好き!

心を込めて
作っています!

毎日楽しく
通っています!



くるみボタンを使った小物類や
レザー製品も作っていますが、イ
チオシは園芸品です。マリーゴー
ルドは毎年種から育てていて、お正
月向けには寄せ植えを作っていま
す。地域の方にも浸透
してきて、多くの方が
買いに来てくださいま
す!



富士市社会福祉協議会 障害サービス室より

各事業所では、企業などで働くことが難しい障害のある利用者さんたちが、食品や雑貨など、心を込めてさまざまな製品を生産・販売しています。

これらの製品は、各事業所のほか、フィナンセや市役所の販売コーナーでもお求めいただけます。売上はすべて利用者さんの工賃となりますので、ぜひ一度手に取ってお試ください。

私たちは、利用者さんが楽しく安心して作業に取り組める居心地のよい場所づくりに努めるとともに、地域の皆さまが気軽に立ち寄れるような施設を目指しています。

山本所長に
インタビュー!



楽しく過ごせるみんなの「居場所」

これからも最高の笑顔を守りたい。

就労支援から始まる 居場所づくり

鷹身工芸社では、知的障害や身体障害を持つ方が笑顔あふれる雰囲気の中で、毎日いきいきと作業に取り組んでいます。この場所で過ごす時間が大好きで、中には20年以上通われている方もいらっしゃいます。

利用されている皆さんにとって、ここは「ただ作業をする場所」ではなく、仲間と楽しく過ごせる「居場所」や「第二のわが家」のような存在になっていて、生きがいを感じながら働ける場所になっています。



鷹身工芸社 所長 山本 領香さん

夢は地域から愛される場所

地域の皆さんに鷹身工芸社のことをもっと知っていただき、交流を深めたいと思っています。鷹岡地区福祉推進会の皆さんとは以前から毎月一回、一緒に作業を続けています。積極的に声をかけてくださり、笑顔あふれる楽しい時間となっています。また、地域のお祭りなどにも声をかけていただき、出店する機会もあります。

利用者の皆さんにはそれぞれ得意なことや好きなことがたくさんあります。その力が地域に還元され、少しでも地域のお役に立てたら嬉しいですね。

ご家族からは「作業を頑張るだけでなく、一日楽しく、仲良く過ごすことができて嬉しいです」といった感謝の言葉をいただきます。

私たちも笑顔で話しかけてくれたり、少しずつでも心を開いてくれることが本当に嬉しいです。これからも一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、穏やかで心地よい時間を過ごせるように、笑顔あふれるこの場所を大切にしていきたいと思っています。

知っていますか？ 交通遺児援護事業



この事業は、交通事故によって保護者を亡くされた児童・生徒（高校3年生まで）の方を対象に行っています。事業運営は、市民の皆さまから交通遺児へと寄せられた善意の寄附です。（寄附をお寄せくださった方は、「お元気ですか」に掲載させていただきます。）

- 事業内容**
- 見舞金の支給
 - 小・中・高校入学時の祝金の支給
 - 交通遺児等育英奨学生制度

詳細につきましては、二次元コードでご確認いただくか、下記までお問合せください。

問合せ

総務課 TEL 0545-64-6600



フードドライブへのご協力をお願いします！



市内には厳しい生活状況の中、職を失うなどの理由により、食事に困っている方がいます。そのような人を支援する方法として「フードドライブ」があります。フードドライブは、食料を指定の場所に持ち込んでいただき、NPO法人フードバンクふじのくにを通じて、困っている人へ無償でお届けしています。

ご家庭に眠る“もったいない”が、誰かの“ありがとう”に変わる取り組みです。みなさんの温かいご協力をお待ちしています。

実施期間 令和8年1月4日(日)～1月31日(土)

平日8:30～17:15の間で受入れを行っています。

回収場所 富士市フィナンセ東館1階ユニバーサル就労支援センター

富士市役所4階生活支援課
まちづくりセンター 他
その他の回収場所については
二次元コードからご確認下さい。



希望食品

お米・パスタ・缶詰・フリーズドライ食品
インスタント食品・レトルト食品・調味料
お菓子・飲料 等

※原則として、常温保存できるもののご寄付をお願いします。

※賞味期限が2ヵ月以上残っているもの

※未開封で中身が破損していないもの

問合せ

富士市ユニバーサル就労支援センター
TEL 0545-64-6969

富士市ユニバーサル就労支援センター(フィナンセ東館1階)では、フードドライブ期間外でも常時食料品の受付を行っており、生活に困った方の支援に役立っています！

受け取り忘れていませんか？ 地域ダントツの実績！！

障害年金

相談件数 5,750件以上！！
病気やケガで障害を負った方で、一定の条件を満たしていれば受給することができる「障害年金」。

1日5名様限定！

症状等に応じて年間約

58万円～200万円にも

病気やケガで働く事に困難がある方、お気軽にお問い合わせください。

無料相談会

第500回

1/14(水)

第508回

2/12(木)

静岡会場 静岡市東区佐馬町1-2

12:00～16:00

第503回

1/29(木)

第508回

2/25(水)

三島会場 【三島商工会議所】

三島市一番町2-29 13:00～17:00

第506回

2/18(水)

毎月2回ずつ静岡市・浜松市で開催中！

安心の予約制 20～64歳の皆様へ

対象となる主な傷病

うつ・統合失調症・脳梗塞・脳出血・がん・人工肛門・人工関節・肝硬変・手足の外傷・心疾患・知的障害・発達障害・人工透析・目・耳の病気など



静岡・浜松障害年金相談センター
054-293-5445

平日 10:00～17:30

運営：アイアール社会保険労務士法人

アイアール 障害年金 検索

www.irl-nenkin.jp



広告募集

お元気ですかに掲載する
広告を募集しております。

お問合せ

総務課 ☎ 0545-64-6600

防災×福祉 の現場から

ボランティアセンター
より

被災された方の力になりたい

～台風15号静岡県内災害支援
情報共有ミーティング開催～

令和7年9月、台風15号による突風被害や大雨により、牧之原市や吉田町など静岡県内各地では甚大な被害が発生しました。富士市では、市民やボランティア、市民活動団体、企業、学生のみならず「被災地の様子を知りたい」「被災された方のために力になりたい」「ボランティア活動をしたいけど不安」など様々な声をいただきました。

みなさんの力と想いを被災地に届けることを目的に9月20日「静岡県内災害支援情報共有ミーティング」を開催しました。

それぞれの立場で被災地支援に入られた方より、被災状況や被災された方の生活状況、災害ボランティア



全国の被災地へ… 富士市からできること

「義援金」「支援金」で応援！

被災地では「義援金」や「支援金」の募集が行われています。

○義援金 … 被災された方を支援する

※赤い羽根共同募金や日本赤十字を通じて被災者へ

○支援金 … 被災された方の支援活動を行う人を支援する

※赤い羽根共同募金・日本財団などを通じて被災された方々の支援活動を行うNPO・ボランティアグループへの活動にかかる費用の助成に活用されます。

センターの機能と役割、災害ボランティアの参加方法、多様な団体との連携事例などを共有していただきました。

参加者からは、「被災者の大変な様子が分かった」「実際に現地へ行っただけでは参加したい」と思えた「現地にいけないでも、できる支援があることを知った」など多くの感想をお寄せいただきました。

一人、一つの団体ができることは限られても、みんなが集まれば、色々なことができるかもしれない。そんな力を感じることができた貴重な機会となりました。



↑吉田町の様子



↑牧之原市の様子

現地での支援活動を通して、「地域のつながり」の大切さを改めて感じました。

被災地では「となりに住む〇〇さん」「同じ町内のあのひと」の何気ない日常での関わりが、災害時お互い助け合える関係性へとつながっていました。

富士市社会福祉協議会は、地域のみなさんとともに、災害時にも「活きる」「地域のつながり」づくりを進めていきます。



地域支援課
山本 彩都



地域支援課長
渡邊 義高

吉田町と牧之原市の災害ボランティアセンターへ職員を派遣しました。